

目次

[今週号は 2023 年 1 月 20 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：景気の現局面	1
日本株銘柄情報：SHIFT(3697)	2
日本株銘柄情報：クリーク・アンド・リバー社(4763)	3

景気の現局面

笹木 義次

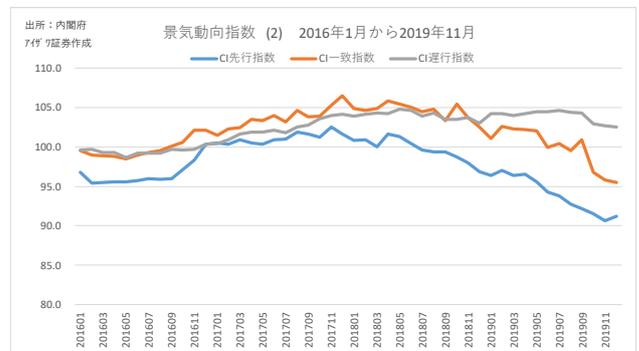
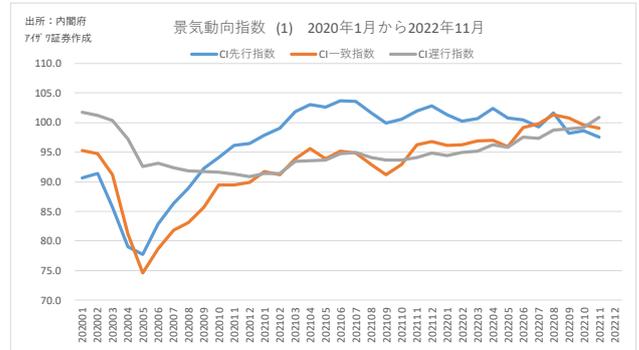
2022 年 11 月の景気動向指数が発表されました。景気動向に敏感に反応する複数の指標を組み合わせたコンジットインデックス(CI)の形で景気動向が示されています。CI は、主として景気変動の大きさやテンポを測定する目的で作成されています。景気動向に先行する CI 先行指数、景気動向と一致する CI 一致指数、景気動向に遅行する CI 遅行指数から構成されています。

直近の景気動向指数は、CI 先行指数が基調として低下しており、CI 一致指数は 3 ヶ月連続で前月比がマイナスになるなど低下基調となっています。また、CI 遅行指数は上昇基調を維持しています。

こうした直近の景気動向指数の動向は、景気調整局面入りする直前の 2018 年の後半の動きと似ています。2018 年 6 月以降の景気動向指数は、CI 先行指標は低下基調に、それまでは上昇していた CI 一致指数が低下基調に転じました。CI 遅行指標は上昇基調を維持していました。

CI 先行指数と CI 一致指数がともに低下基調となる事で、2019 年に入って景気は調整色を強めました。

今回も、CI 先行指数は基調として低下し、CI 一致指数が低下に転じるなど、CI 先行指数と CI 一致指数はともに低下しています。こうした事から、日本経済は前回 2018 年と同様に、先行きは景気調整局面を迎えると筆者は考えています。



SHIFT

(3697)

笹木義次

株価指標

株価 (2023/1/20)	24,010.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	4,277 億円

事業概要

SHIFT は、ソフトウェアの品質保証サービスを提供しています。また、顧客企業の課題解決に役立つ各種ソリューションサービスも提供しており、顧客企業の事業成長に貢献する「売れるサービスづくり」に取り組んでいます。

経営力、オペレーショナルエクセレンス、DX、のビジネス3要素を意識した経営を行う事で、高い成長性を実現しています。

2023年8月期第1四半期業績実績

SHIFT の 2023 年 8 月期第 1 四半期の業績は、売上高が 193 億 54 百万円と前年同期比で 35.6%の増収に、営業利益は 18 億 8 百万円と前年同期比で 7.4%の減益となりました。売上高の増収効果で販管費の増加を吸収できずに、営業利益は減益となりました。

売上高の増収は、顧客企業数の増加と売上単価の上昇によります。新規の顧客企業を獲得する事で、顧客企業数は増加しました。SHIFT ではマーケティング施策を強化して、リード数の確保を行っています。こうした取り組みが奏功して、新規の顧客企業の獲得に繋がりました。

また、新規顧客企業の獲得に加えて、既存の顧客企業のロイヤルカスタマー化を進めています。ロイヤルカスタマーとは年間を通じて定期的に取引がある顧客の事です。ロイヤルカ

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/8	46,004	3,994	4,736	2,818	162.7	0.0
2022/8	64,873	6,913	7,552	4,974	282.8	0.0
2023/8計	87,000	9,400	9,500	6,300	357.5	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	67.1 倍
PBR	15.80 倍
予想配当利回り	0.00 %

スタマー化により売上単価の上昇に繋がりました。

販管費の増加は、主に人件費と採用費の増加によります。これまでの従業員数の増加により、人件費は増加しました。2023年8月期は上半期に積極的に採用を行う方針になっている事から採用費は大幅な増加となりました。ハイスキル人材や非IT系人材の採用が順調に進みました。

SHIFT では、採用の対象となる領域を広げています。フルリモートが可能な事から地方在住のエンジニアも対象にしています。SHIFT では 70 才定年制を採用し、ベテランの IT 人材も採用の対象としています。

2023年8月期業績計画

SHIFT では 2023 年 8 月期の業績は、売上高が 870 億円と前年比で 34.1%の増収を、営業利益は 94 億円と前年比で 36.0%の増益を計画しています。上半期に採用等の投資を先行させて、下半期に回収する計画となっています。

3697 株 SHIFT 東証 週定 21/7/12~23/1/16
 日付:23/01/20 時:23:30 高:24080 安:23680 現値:24010.4380 出来高:190.5
 W:10/20 移動平均線[13]-----[26]-----MA13:25820.00 MA26:22824.62
 S1:出来高[13]-----[26]-----V:1560.4 MA13:1519.123 MA26:1439.523



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

クリーク・アンド・リバー社(4763)

笹木 義次

株価指標

株価 (2023/1/20)	2,110.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	485 億円

事業概要

クリーク・アンド・リバー社(以下 **C&R** と略称します)は、様々な分野の専門家を対象に専門家のネットワークを形成して、顧客企業の需要に対して専門家の人材サービスを中心に提供しています。提供する形態としては、派遣、紹介、請負となっています。また知的財産の管理と活用も行っています。

ゲーム分野と医療分野が中核

C&R の中心的な領域としては、ゲーム分野と医療分野です。ゲーム分野では、自社の開発スタジオで制作受託や自社開発を行っています。また、ゲームクリエイターなどの人材の育成も行っています。2023年2月期第3四半期累計の構成比は、売上高が25.4%に、営業利益が33.9%になっています。

医療分野では、主に医師の紹介を行っています。また合同説明会等も開催しています。2023年2月期第3四半期累計の構成比は、売上高が12.8%に、営業利益が38.0%になっています。

ゲーム分野と医療分野の合計の営業利益の構成比は、71.9%です。こうしたことから **C&R** の業績は比較的景気変動の影響を受け難くなっていると筆者は考えています。

連続増配

C&R の2023年2月期の1株配当は23円を

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/2	37,314	2,447	2,485	1,647	74.3	16.0
2022/2	41,799	3,411	3,419	2,224	99.8	20.0
2023/2計	44,000	4,000	4,000	2,500	112.2	23.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	18.6 倍
PBR	3.43 倍
予想配当利回り	1.09 %

計画しています。実現すれば、12期連続の増配となります。こうした連続増配は、安定した事業の成長が見込める証左になっていると筆者は考えています。

クリエイティブスタジオ

C&R は、2021年12月にクリエイティブスタジオを始動しました。これまでであった16分野のスタジオを包括したものです。ひとつに包括する事で、16の異なる分野の専門家やクリエイターの間で、様々な相乗効果が生まれる事が見込まれます。

専門家のネットワークを形成して、顧客企業に専門家の人材サービスを提供する事が、**C&R** の事業モデルです。クリエイティブスタジオは専門家、特にクリエイターのネットワークの形成力を高める事になり、**C&R** の事業モデルの競争力の強化になると筆者は考えています。また、クリエイティブスタジオのメタバースのベータ版を2023年3月にオープンを予定しています。

4763 クリーク・アンド・リバー社 東証 満足 21/7/12~23/1/16
日付:23/01/20 始:2085 高:2116 安:2070 現値:2110.40 出来高:86.8
前:0000定:増移動平均[16]-----[26]-----[51]-----MA19:2024.82 MA26:2179.54
SI:出来高[18]-----[28]-----[45]-----V:459.3 MA13:455.777 MA26:488.282



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa